

〔 横浜みなとみらいホール 〕  
 平成 25 年度業務報告及び収支決算  
 〔 公益財団法人横浜市芸術文化振興財団 〕

※ 文中の事業欄において、  
 ●：主催事業。○：共催事業  
 を示します。  
 ※ 文中の達成指標、達成状況欄において、  
 □：定量的指標。■：定性的指標  
 を示します。

1 施設の概要

|         |                               |
|---------|-------------------------------|
| 施設名     | 横浜みなとみらいホール                   |
| 所在地     | 横浜市西区みなとみらい 2-3-6             |
| 構造・規模   | 鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階地上7階建て        |
| 敷地・延床面積 | 専有延べ床面積 18,688 m <sup>2</sup> |
| 開館日     | 平成10年5月31日（大ホール）・2月1日（小ホール）   |

2 指定管理者

|          |                          |
|----------|--------------------------|
| 団体名      | 公益財団法人横浜市芸術文化振興財団        |
| 所在地      | 横浜市中区山下町2番地 産業貿易センタービル1階 |
| 代表者      | 理事長 澄川 喜一                |
| 代表者設立年月日 | 平成3年7月10日                |
| 指定期間     | 平成24年4月1日から平成34年3月31日まで  |

3 指定管理に係る業務総括

(1) 基本的な方針の総括

第二期指定管理事業計画書に掲げた「豊かな音楽社会を啓くコンサートホール」を実現するため、25年度は「開館15周年」や「横浜音祭り2013」を中心に据え、財団他施設や街・教育機関等との連携強化をテーマに新たな広がりを強調しました。また、芸術文化の役割を最大限発揮するための取り組みとして、世界トップレベルのアーティストによる大型公演・アジアへの発信を見据えた新作オペラなどを制作し、横浜みなとみらいホールの存在感を更に高めるよう努めましたが、高額チケットの販売で苦戦し、収支面において大きな課題を残す結果となりました。

(2) 25年度の業務の方針及び達成目標の総括

①事業

開館15周年記念事業や、「横浜音祭り2013」の中核を担う事業として、トップレベルのア

アーティストによる公演の数々を取り揃えたほか、アジア発信を見据えた新作オペラの制作や、新しい映像手法を取り入れたコンサートなど、日本の楽壇にインパクトを与える事業を数多く実施し、国内有数のコンサートホールとしての存在感をアピールすることが出来ました。その反面、首都圏で開催された大型事業の煽りを受け、高額入場料の公演について、券売に苦戦し、収支面において目標に到達する事が出来ませんでした。

## ②運営

90%を超える高い稼働率の大・小ホールについては、本年度もきめ細やかなサービスを維持しながら施設を提供しました。一方、稼働率向上が課題のレセプションルームや音楽練習室については、広報と連携しながら各種利用促進に積極的に取り組み、レセプションルームは単独利用と利用率が増加しました。また、「横浜音祭り 2013」を契機にポップスやアニメソング・ゲーム音楽といったクラシック音楽以外の幅広いイベント系大型公演にも施設提供を行い、これまでコンサートホールに足を運ばなかった新規顧客層の来館を促進しました。

## ③広報

初めてのプレス懇談会・出演者等が登壇する記者発表会の実施、貸館 PR や託児 PR 等、新たな取り組みと幅広い広報を展開しました。「横浜音祭り 2013」関連事業については、公演終了後も多数のメディア掲載がありましたが、実質的なチケット販売には結びつきませんでした。今後は効率的で実効性の高い広報展開を課題としていきます。ファンドレイジングについては、年間3回のスポンサー感謝会を実施し、関係各社との強固な関係づくりに努め、前年度を上回る協賛金を獲得することができました。

## ④総務

施設の経年劣化が大きな課題となるなか、専門人材の配置を実現し、より一層の安全・安心な施設の提供を実現させることが出来ました。また、次年度の大型修繕の道筋をつけることが出来ました。

## 4 経営についての達成状況

### (1) 施設機能の最大発揮と総合力ある経営について

#### [目指す成果]

事業と施設運営の最適配分を考えた経営で、ホールの機能を最大限に発揮する

広報チームを中心に両グループ横断的プロモーション活動を展開し、経営の強化に努めます。

また、「横浜アーツフェスティバル実行委員会主催事業」や「横浜みなとみらいホール 開館 15 周年」を足がかりに、横浜みなとみらいホールが持つ機能を最大限発揮し、都市活性化に寄与し地域社会への貢献度を高めていきます。

#### [成果についての振り返り]

広報チームが減員となるなか、グループや施設の枠組みを超えてのプロモーション活動には限界がありましたが、ファンドレイジングについては「横浜音祭り2013」に因んだ大型事業や「開館15周年」を契機として積極的に活動を展開。スポンサー各社との関係構築により、前年度実績を上回る協賛金を獲得しました。社会的協働・連携の取り組みについては、市内教育機関や地元オーケストラ団体との信頼関係を築き上げつつ多角的に実施し、一定

以上の成果をあげることが出来ました。

| [取組内容]   | [達成指標]   | [実施内容と達成状況]   |
|--|--|---|
| <p><u>ア)組織内連携と経営強化</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●両グループ横断的プロモーション・セールス活動の実施</li> <li>●ファンドレイジング活動</li> </ul> <p><u>(イ)財団全体での総合力発揮</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「横浜アーツフェスティバル実行委員会主催事業」を足がかりに、財団事務局や他施設との連携を密にすると共に横断的企画を実施し、組織の総合力を発揮します。</li> </ul> <p><u>(ウ)社会的協働・連携による取組み</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●教育機関や地元オーケストラ団体との更なる協働・連携に取組みます。</li> </ul> | <p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■チケットセールス始動。</li> <li>□MMccでの貸館セールス活動実施<br/>(内覧会：1回、資料配布：2回)</li> <li>□企業協賛金獲得 1,450万円以上<br/>(23年度実績：1,379万円)</li> <li>■「横浜アーツフェスティバル実行委員会主催事業」開催にあたり、広報・協働部門を中心に財団事務局との連携を深めます。</li> <li>□音楽以外のジャンルの専門施設との連携企画、地域施設との連携企画を各1件以上実施。</li> <li>□教育機関等との協働・連携企画について、池辺館長を絡めた形も含め、5団体以上実施。</li> <li>□市内学校の職業体験3件以上受入れ。</li> <li>□地元オーケストラ団体との協働・連携企画を1件以上実施。</li> <li>■グッズ販売に寄附のシステムを取り入れます。</li> </ul> | <p>[実施内容と達成状況]</p> <p>(ア) 組織内連携と経営強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 事業企画グループと経営グループ（広報チーム）連携によるチケット販促活動を実施しました。</li> <li>□ MMccにて貸館セールスを以下のとおり実施。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・貸館チラシ配布2回</li> <li>・6/27「夜の1ドルコンサート」とパイプオルガン見学会実施：1回、室場紹介：1回</li> </ul> </li> <li>□ 企業協賛金1,580万円獲得 <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポンサー感謝会実施：3回/年度</li> </ul> </li> </ul> <p>(イ) 財団全体での総合力発揮</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 財団事務局の広報部門との連携により、WikipediaTown 事業・YAFchへの動画配信等、財団事務局との連携を深め、横浜みなとみらいホールの周知や事業PRにつながる展開に取り組みました。</li> <li>□ 専門施設連携事業：4件<br/>横浜美術館：「シネマ×オルガン」・「白狐」<br/>大佛次郎記念館：「シネマ×パイプオルガン」<br/>赤レンガ倉庫1号館：「邦楽維新」</li> <li>□ 地域施設連携事業：2件<br/>吉野町市民プラザ：「SuperBigBand」1件<br/>磯子区民文化センター：「アマチュア室内楽フェスティバル」1件</li> </ul> <p><u>(ウ) 社会的協働・連携による取組み</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□市内教育機関等との協働企画：10件 <ul style="list-style-type: none"> <li>・池辺館長プロデュース「戸塚高校吹奏楽部へのドイツ・カンマーフィルによるクリニック」</li> <li>・Music Teachers Projectとして、市内音楽専科の教員へ「ピアノ及びお琴のワークショップ」</li> <li>・市内の保育園（2施設）・小学校（3校）・小学校支援学級（1校）・中学校（2校）へアウトリーチ事業を実施。</li> </ul> </li> <li>□市内学校職業体験受入れ実績：5件</li> <li>□神奈川フィルとの連携企画合計5件実施。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・公開リハーサル：3件（11/21、12/18、3/20）</li> </ul> </li> </ul> |

|  |  |   |
|--|--|---|
|  |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ロビーコンサート：2件（12/24、3/14）</li> <li>■寄附のシステムを取り入れたオリジナルグッズ販売：15周年缶バッジ（15円/1個）</li> </ul> |
|--|--|---|

(2) 地域の活性化及び都市の魅力づくりの達成について

|  |  |  |
|--|--|--|
| <p>[目指す成果]</p> <p><u>観光振興や創造都市形成に向けた取り組みに協力し、魅力ある街づくりに努める</u></p> <p>周辺の商業施設、専門文化施設間の連携を一層強化し、来館者や来街者が「ホールのある街」を実感できるよう努めます。</p> <p>[成果についての振り返り]</p> <p>「横浜音祭り2013」や「横浜みなとみらいホール開館15周年」を足掛かりに、近隣商業施設や近隣住民への情報発信やコンテンツ提供をより一層充実させ、街全体のにぎわい創出や街の話題づくりに貢献しました。無料で気軽に楽しめる「ロビーコンサート」はクリスマス・イヴやホワイトデーに開催し、街と一体になって魅力ある街づくりに努めました。</p> |  |  |
| <p>[取組内容]</p> <p>(ア)「横浜文化中心」戦略</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●近隣住民への働きかけを行います。</li> <li>●近隣オフィスワーカーへの働きかけを行います。</li> </ul> <p>○連携文化施設連携事業の提供を行います。</p>  | <p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□近隣マンション自治会への協力・情報提供の推進</li> <li>・各自治会を通じてマンション内に設置したチラシラックのメンテナンス<br/>毎月1回</li> <li>・秋まつり等イベントへの協力 年1回</li> <li>・西区役所を通じて区内転入者へチラシ配布<br/>随時</li> <li>□近隣企業の親睦団体への働きかけ・情報提供による街のにぎわい創出。</li> <li>・MMcc 世話人会への参加<br/>毎月1回</li> <li>□横浜美術館等他の専門施設との連携事業の提供<br/>年2回以上</li> </ul> | <p>[実施内容と達成状況]</p> <p>(ア)「横浜文化中心」戦略</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 近隣マンションへの情報提供推進</li> <li>・チラシラックのメンテナンス：12回/年度</li> <li>・みなとみらい夏祭り（盆踊り）への参加</li> <li>・西区転入者へのチラシ配布：随時</li> <li>□近隣企業への情報提供・街のにぎわい創出</li> <li>・MMcc世話人会参加：12回/年度</li> <li>・11/21：MMcc「神奈川フィル公開リハーサル見学会とボジョレーヌーヴォーを楽しむ会」開催</li> <li>・12/24・3/14：「神奈川フィルロビーコンサート」実施。（一般向けコンサート・街のにぎわいづくり）</li> <li>□専門施設連携（再掲）：4回</li> <li>横浜美術館：「シネマ×オルガン」・「白狐」</li> <li>大佛次郎記念館：「シネマ×パイプオルガン」</li> </ul> |

|   |  |   |
|---|--|---|
| <p><u>(イ)ビフォア・アフターコンベンション対応の充実</u></p> <p>●近隣施設等の情報を収集し、協力体制を強化します。</p> <p><u>(ウ)文化施設連携事業の展開</u></p> <p>○連携文化施設連携事業の提供を行います。</p> <p><u>(エ)商業連携の推進</u></p> <p>●近隣商業施設との連携を強化します。</p> <p><u>(オ)当日参加可能事業の情報発信</u></p> <p>●ツイッターで直前公演情報や当日券有無を発信</p> <p><u>(カ)パブリシティの強化</u></p> <p>※詳細は4-(3)「プロモーションの充実について」を参照</p> | <p>■クイーンズ広報委員会への出席 毎月1回</p> <p>イベント連絡会への出席 毎月1回</p> <p>□横浜美術館等他の専門施設との連携事業の提供 年2回以上(再掲)</p> <p>□クイーンズスクエア等とのイベント協力 年2回</p> <p>□ツイッターでの発信 年間100ツイート</p> <p>※詳細は4-(3)「プロモーションの充実について」を参照</p> | <p>赤レンガ倉庫1号館：「邦楽維新」</p> <p>(イ) ビフォア・アフターコンベンション</p> <p>□ クイーンズ広報委員会への出席：12回/年度</p> <p>イベント連絡会への出席：12回/年度</p> <p>(ウ) 文化施設連携事業(再掲)</p> <p>□専門施設連携(再掲)：4回</p> <p>横浜美術館：「シネマ×オルガン」・「白狐」</p> <p>大佛次郎記念館：「シネマ×パイプオルガン」</p> <p>赤レンガ倉庫1号館：「邦楽維新」</p> <p>(エ) 商業連携推進</p> <p>□近隣商業施設等と以下5件の連携企画を実施</p> <p>□クイーンズスクエアへのイベント協力：2件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クイーンズ・サークルコンテンツ提供：8/19「ヤングアメリカンズinクイーンズスクエア横浜」</li> <li>・シンギングツリーへの企画協力：横浜みなとみらいホール開館15周年に因んだ企画提供。</li> </ul> <p>□ベイホテル東急との連携企画：2件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「フィデリオ」特別宿泊プラン</li> <li>・「カフェ・トスカ」でのベーターヴェン特別メニュー</li> </ul> <p>(オ) 当日参加可能事業の情報発信</p> <p>□ ツイッターでの発信件数：403ツイート</p> <p>(カ) パブリシティ強化</p> <p>※詳細は4-(3)「プロモーションの充実について」に記載。</p> |
|---|--|---|

## 5 事業についての達成状況

### (1) 多様な鑑賞機会を提供し音楽文化の裾野を広げるための取り組み

|   |
|---|
| <p>[目指す成果]</p> <p><u>ア 世界的に評価の高い公演等、日本を代表するホールにふさわしい事業を充実させる</u></p> <p>平成25年度の「横浜アーツフェスティバル実行委員会主催事業」は「音楽」がテーマとなることから、メイン会場の一つとして実行委員会と連携して「横浜芸術アクション事業」を盛り上げるとともに、世界的なオーケストラ公演を開催し、日本を代表するコンサートホールとしての存在感を示し、横浜の都市ブランド向上に寄与します。</p> |
|---|

イ 個性を発揮し、様々な人に継続して来館してもらえよう、創意工夫を凝らした公演等を提供する

国内を代表するコンサートホールとしての音響特性を最大限活かしつつ、音楽の発信基地としての位置付けの中で、多様な音楽ジャンルに触れていただける事業ラインナップを揃え、市民の多様なニーズに応えます。それによって、他ジャンルのファン層が来館するきっかけを作り、横浜みなとみらいホールの顧客層につなげます。また、定期的開催される低料金の事業シリーズを展開して、クラシック音楽鑑賞者層を戦略的に育てていきます。

当ホールに来場する、横浜市民をはじめとする来場者の方に、心躍る体験を提供していきます。

[成果についての振り返り]

「横浜アーツフェスティバル実行委員会」の主催する「横浜音まつり2013」期間を中心に、広報や運営協力など会場を提供するだけでなくフェスティバルを支えたほか、主催事業としての世界水準の芸術性の高いコンテンツの発信し、音楽専門誌等に数多く掲載されるなど国内を代表するコンサートホールとしての存在感を示しました。

市民の多様なニーズに応えるため、単なるクラシック音楽の演奏会だけではなく、ジャンルや手法など工夫したイベントを企画・実施した結果、達成指標以上の成果をあげることが出来ました。

| [取組内容]   | [達成指標]   | [実施内容と達成状況]  |
|--|--|--|
| <p><u>展覧会</u></p> <p><u>ア 世界的に評価の高い</u></p> <p><u>公演</u></p> <p><u>(ア)「横浜芸術アクション事業」として下記の事業を実施</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「井上&amp;サンクトペテルブルク響」</li> <li>●「小曾根真&amp;ゲイリー・バートン」</li> <li>●「本名徹次&amp;ベトナム国立響」</li> <li>●「インバル&amp;都響」</li> <li>●「Pヤルヴィ&amp;パリ管」</li> <li>●「招待ピアノ特別演奏会」</li> <li>●「ギルバート&amp;ニューヨークフィル」</li> <li>●「Aデイヴィス&amp;BBC響」</li> <li>●「熱帯JAZZ楽団」</li> <li>●「アンサンブル・ウィーン=ベルリン」</li> </ul> <p><u>(イ)クラシックファンに</u></p> | <p>(ア)</p> <p><input type="checkbox"/>顧客満足度 80%以上</p> <p><input type="checkbox"/>合計入場者数 16,000人</p> <p>(イ)</p> | <p>ア</p> <p>世界的な演奏者が出演する公演を多数開催し、「横浜芸術アクション事業」としてインパクトのある公演を実施しました。</p> <p>アー (ア)</p> <p><input type="checkbox"/>顧客満足度 89.6%</p> <p><input type="checkbox"/>合計入場者数 17,664人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「井上&amp;サンクトペテルブルク響」(4/21 1,334人)</li> <li>●「小曾根真&amp;ゲイリー・バートン」(6/23 1,786人)</li> <li>●「本名徹次&amp;ベトナム国立響」(9/21 1,325人)</li> <li>●「インバル&amp;都響」(11/8, 11/2, 3/9, 3/16 計 6,537人)</li> <li>●「Pヤルヴィ&amp;パリ管」(11/7 1,035人)</li> <li>●「招待ピアノ特別演奏会」(11/16, 11/17 計 1,231人)</li> <li>●「ギルバート&amp;ニューヨークフィル」(2/15 1,576人)</li> <li>●「Aデイヴィス&amp;BBC響」(10/4 1,409人)</li> <li>●「熱帯JAZZ楽団」(11/3 1,170人)</li> <li>●「アンサンブル・ウィーン=ベルリン」(10/5 261人)</li> </ul> <p>アー (イ)</p> |

|  |   |   |
|--|---|---|
| <p><u>喜ばれる自主イベントを企画実施</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「NHK 交響楽団横浜定期演奏会」</li> <li>● 「ジルヴェスターコンサート」</li> <li>● 「ヴェーラ弦楽四重奏」</li> <li>● 「ファインデュオ」</li> <li>● 「オルガンリサイタル」</li> </ul>   | <p>□合計入場者数 4,700 人</p>  | <p>□合計入場者数4,707人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「NHK 交響楽団横浜定期演奏会」(11/24 1,703 人)</li> <li>● 「ジルヴェスターコンサート」(12/31 1,921 人)</li> <li>● 「ヴェーラ弦楽四重奏」(12/8 279 人)</li> <li>● 「ファインデュオ」(6/23,11/23 475 人)</li> <li>● 「オルガンリサイタル」(2/14 330 人)</li> </ul>   |
| <p><u>イ 創意工夫を凝らした公演</u></p> <p><u>(ア)多様な音楽ジャンル</u><br/><u>のイベントを開催</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ジャズ「小曽根真&amp;ゲイリー・バートン」</li> <li>● ジャズ「熱帯 JAZZ 楽団」</li> <li>● ジャズ「横濱 JAZZ プロムナード」</li> <li>● 邦楽「デーモン閣下の邦楽維新コラボレーション」</li> <li>● 邦楽「邦楽ワークショップ」(WS2 回)</li> <li>● 洋楽「ヤングアメリカンズイベント」<br/>(公演1回、WS3 日間)</li> </ul> | <p>(ア)</p> <p>□ 5 公演の合計入場者数 5,300 人</p> <p>3 ワークショップ 合計参加者数 300 人</p> | <p>イ クラシック音楽だけではなく、JAZZや邦楽を取り入れた事業を実施し、幅広い音楽層からの集客を実現しました。</p> <p>イー (ア)</p> <p>□5公演の合計入場者数 8,160人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ジャズ「小曽根真&amp;ゲイリー・バートン」(6/28 1,786 人)</li> <li>● ジャズ「熱帯 JAZZ 楽団」(11/3 1,170 人)</li> <li>● ジャズ「横濱 JAZZ プロムナード」(10/13 2,976 人)</li> <li>● 邦楽「デーモン閣下の邦楽維新コラボレーション」(3/2 921 人)</li> <li>● 洋楽「ヤングアメリカンズイベント」(8/22 1,307 人)</li> <li>■3ワークショップ参加者数 434人</li> <li>● 邦楽「邦楽ワークショップ」(WS3 回)</li> <li>● 洋楽「ヤングアメリカンズイベント」<br/>(公演1回、WS3 日間)</li> </ul> |
| <p><u>(イ)これからの鑑賞者育成のため入門用事業として定期的に低料金コンサート(子ども向けの「おんがくひろば」は無料)を開催</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「オルガン1ドルコンサート」<br/>年間8日開催</li> <li>● 「みなとみらいクラシック・クルーズ」<br/>年間8日開催</li> </ul>   | <p>(イ)</p> <p>□合計入場者数 17,000 人</p>                                    | <p>イー (イ)</p> <p>□合計入場者数：20,319人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「オルガン1ドルコンサート」(4/25,5/23,6/27[昼夜],7/25,9/26,11/21,1/23[昼夜],3/20 計9,971人)</li> <li>● 「みなとみらいクラシック・クルーズ」(4/9,6/25,9/17,10/24,1/20,3,6 計9,532 人)</li> <li>● 「みんな集まれ！おんがくひろば」(5/28,7/1,9/2,10/10,1/24,2/21 計816 人)</li> </ul>   |

|                                     |  |  |
|-------------------------------------|--|--|
| <p>●「みんな集まれ！おんがくひろば」<br/>年間6日開催</p> |  |  |
|-------------------------------------|--|--|

(2) 新たな音楽文化を提案する、優れた創造・創作の拠点を形成するための取り組み

|  |   |  |
|--|---|--|
| <p>[目指す成果]</p> <p><u>ア 独自性の高い事業、国内外から注目を集めるものを企画制作する</u></p> <p>横浜みなとみらいホール独自の企画によって、新たな創造の場・創作拠点となり、国内外から注目を集めるホールになります。国内のホールにも企画を巡回させ、横浜みなとみらいホールの名を発信します。</p> <p><u>イ 「横浜芸術アクション事業」を本格実施する</u></p> <p>25年度の「横浜アーツフェスティバル実行委員会主催事業」は「音楽」をテーマとして取り上げることから、メイン会場の一つとして実行委員会事務局と連携して事業を盛り上げるとともに、オリジナルオペラを創造していくことで、独自性を発揮、日本を代表するコンサートホールとしての存在感を示し、横浜の都市ブランド向上に寄与します。</p> <p>[成果についての振り返り]</p> <p>多くの室場を有する優位性を活かし、財団他施設と連携した当ホールならではの事業を実施することができました。また、国内の他ホールへのコンテンツ提供も計画通り実施し、ホール間の連携や関係構築を図りました。「横浜アクション事業」の一つの目玉でもあった新作オペラについては、現代の邦人作品ということもあり、厳しい集客ではありましたが、専門家の評価が高く、すぐに他ホールで著名な演出家による再演が決定するほどでした(2015年8月オペラ形式公演)。近年、池辺館長の提唱によるオペラ事業に重点をおいた成果であり、今後の横浜発のオペラ作品として、国内外に発信するように努めていきます。</p> |   |  |
| <p>[取組内容]</p> <p><u>ア 独自性の高い事業</u></p> <p><u>(ア)横浜みなとみらいホール独自の小ホールオペラシリーズの開催</u></p> <p>●「椿姫」と「てかがみ」</p> <p><u>(イ)現代作曲家シリーズ</u></p> <p>●若手作曲家を起用した「Just Composed 2014」の開催</p>  | <p>[達成指標]</p> <p><input type="checkbox"/>合計入場者数 600人</p> <p><input type="checkbox"/>2公演にて若手歌手6人以上起用</p> <p><input type="checkbox"/>新曲委嘱1曲(*H23実績:1曲)</p> <p><input type="checkbox"/>入場者数200人(*H23実績:254人)</p> | <p>[実施内容と達成状況]</p> <p>ア 過去に蓄積したオペラ制作のノウハウを十分に活かした小ホール・オペラ事業の他、3Dプロジェクションマッピングを使用するなど新しい手法を取り入れたコンサートなど、独自性の高い事業を実施しました。</p> <p>アー (ア)</p> <p>●「椿姫」(4/5, 4/6 計784人)</p> <p>●「てかがみ」(3/28, 3/30 計532人)</p> <p><input type="checkbox"/>合計入場者数 1,316人</p> <p><input type="checkbox"/>若手歌手 9人起用</p> <p>アー (イ)</p> <p>●「Just Composed 2014」(3/1)</p> <p>■新曲委嘱 川上統(かわかみ おさむ) 鼻行類について</p> |

|  |   |  |
|--|---|--|
| <p>(ウ) <u>グレート・アーティスト・シリーズ</u></p> <p>●24年度より始まった同シリーズの2回目として伊福部昭をフィーチャーして多数の埋もれた名曲を発掘して発表します。関連イベントを多角的に開催し伊福部昭を多面的に紹介します。</p>  | <p>□伊福部作品を3曲紹介</p> <p>□入場者数 1,000人</p>                          | <p>□コンサート (3/1) 入場者数 162人</p> <p>アー (ウ)</p> <p>●グレート・アーティスト・シリーズvol.2 伊福部昭 生誕100年メモリアル・コンサート (2/27)</p> <p>□7曲を紹介</p> <p>□入場者数1,034人</p>   |
| <p>(エ) <u>シネマ×パイプオルガン</u></p> <p>●映像と即興演奏とのコラボレーション企画「シネマ×パイプオルガン」を大佛次郎記念館の「大佛次郎没後40周年記念連携事業」と連携して開催します。</p> <p>○パイプオルガンを持つ他都市の文化施設と事業連携をします</p>   | <p>□入場者数 700人(*H23実績：590人)</p> <p>□他都市連携施設 1施設 (*H23実績：2施設)</p> | <p>アー (エ)</p> <p>●横浜みなとみらいホール《シネマ×パイプオルガン》前夜祭 星空シネマ×オルガン (10/11 246人)</p> <p>●オルガン・リサイタルシリーズ34 シネマ×パイプオルガン (10/12 443人)</p> <p>□コンサート+アウトリーチ 入場者数689人</p> <p>□2施設 宮崎県立芸術劇場、石川県立音楽堂</p>                       |
| <p>イ 「<u>横浜芸術アクション事業</u>」</p> <p>(ア) <u>横浜オリジナルのオペラ事業「Yokohama Hands-on Opera Project」</u>を実施します</p> <p>●Pヤルヴィ指揮「フィデリオ」(ブレーメン音楽祭・ボンペーターヴェン音楽祭・横浜みなとみらいホール共同制作公演)</p> <p>●「竹取物語」 沼尻竜介 作曲新作委嘱作品</p> <p>(イ) 「<u>横浜アーツフェステ</u></p> | <p>□合計入場者数 4,000人</p> <p>□オープニング事業 入場</p>                       | <p>イ 海外プロダクションと連携したオペラ事業や、新作オペラなど、当ホール唯一の事業を発信しました。</p> <p>イー (ア)</p> <p>□合計入場者数 4,397人</p> <p>●Pヤルヴィ指揮「フィデリオ」(11/28, 11/30 計3,255人)</p> <p>●沼尻竜介作曲/歌劇「竹取物語」(1/18 1,142人)</p> <p>□入場者数 1,197人 (入場率91.5%)</p> |

|  |              |  |
|--|--------------|--|
| <p>イバル実行委員会主催<br/>事業」のオープニング事<br/>業等の開催に協力しま<br/>す</p> | <p>目標 満席</p> |  |
|--|--------------|--|

(3) 次代を担う芸術家、音楽と市民をつなぐ人材を育み、活動の機会を提供するための取り組み

|   |   |   |
|---|---|---|
| <p>[目指す成果]</p> <p><u>ア 若い音楽家の育成や支援に取り組む</u></p> <p>若手の芸術家を鑑賞事業への出演や、体験型ワークショップ講師として起用し任せることで、日本の音楽芸術振興につながるような芸術家育成拠点となります。若手の演奏家としての活動支援とともに、普及啓発を担う人材としての成長を支援します。</p> <p><u>イ 芸術家や音楽と市民をつなぐ人材の育成に取り組む</u></p> <p>市民が鑑賞行為以外のさまざまな形での音楽文化との関わりを通じ、積極的に芸術とコンタクトし合う気風を醸成し、音楽文化の定着をより強固にします。市民の方々が芸術家と市民をつなぐ「コーディネーター」となり、活躍する土壌を作ります。</p> <p>[成果についての振り返り]</p> <p>若手演奏家を起用したワークショップやコンサートを数多く実施しました。特に今年度は、従来の小学校に対してだけではなく、病院や保育園などへのアウトリーチも企画し、若手芸術家に新たな経験を積ませました。また、芸術家と市民を繋ぐ人材を育てるため、市民プロデューサーやアートマネジメント学生を養成する事業も予定通り実施でき、当事業に対する担当教授からの高い評価をいただきました。</p> |   |   |
| <p>[取組内容]</p> <p><u>ア 若い音楽家の育成や支援</u></p> <p><u>(ア)オペラ</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 3-(2)-ア- (ア) 参照、若手歌手を登用します。</li> <li>● 若手歌手の中からアウトリーチ講師として学校に派遣します</li> </ul> <p><u>(イ)現代作曲家シリーズ</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 3-(2)-ア- (イ) 参照、若手作曲家を登用します。</li> <li>● 若手作曲家もしくは若手演奏家を起用して、事前にプレトーク+ワー</li> </ul>  | <p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/>若手歌手6人以上起用</li> <li><input type="checkbox"/>アウトリーチ実施学校 2校</li> <li><input type="checkbox"/>新曲委嘱 1曲</li> <li><input type="checkbox"/>入場者数 200人</li> <li><input type="checkbox"/>プレトーク+ワークショップ 1回実施</li> </ul> | <p>[実施内容と達成状況]</p> <p>ア 若手演奏家に対し、ワークショップやアウトリーチ、コンサートなど、様々な機会を設けスキルアップの場を設けました</p> <p>ア- (ア)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/>若手歌手9人起用</li> <li>■ 鴨志田中学校 (9/24, 10/7, 10/23) ・岩井原中学校 (10/25) の2校へ合計4日間派遣</li> </ul> <p>ア- (イ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/>新曲委嘱 川上統 (かわかみ おさむ) 鼻行類について</li> <li><input type="checkbox"/>コンサート 入場者数 162人</li> <li><input type="checkbox"/>イベント (トークと演奏) 35人</li> </ul> |

|   |   |  |
|---|---|--|
| <p>クシヨップを開催</p> <p><u>(ウ)みんな集まれ！おんがくひろば</u></p> <p>●3-(1)-イ-(イ) 参照、若手の演奏家を登用します。</p> <p><u>(エ)邦楽ワークショップ</u></p> <p>●3-(1)-イ-(ア) 参照、邦楽奏者のワークショップを開催します</p> <p><u>イ 芸術家や音楽と市民をつなぐ人材の育成</u></p> <p><u>(ア)「コンサートを作るう」企画修了生による協力イベント開催</u></p> <p><u>(イ)コンサートを企画したい一般市民を募集して講義をスタートさせます。</u></p> <p>●「コンサートを作ろう2期生」募集</p> <p><u>(ウ)音楽大学との連携事業の継続を通じ、大学生が地域での活動に資する提携の在り方を探ります。</u></p> <p>●音楽大学リレーションシッププログラム</p> <p><u>(エ)NPO 法人と提携し、より地域の市民の方々の目線に立った企画立案に励みます。</u></p> <p>●NPO 法人との連携事業</p> | <p><input type="checkbox"/>若手の演奏家を6人登用</p> <p><input type="checkbox"/>合計入場者数1,000人</p> <p><input type="checkbox"/>2回実施</p> <p><input type="checkbox"/>3企画実施(*H23実績:3企画)</p> <p><input type="checkbox"/>合計入場者数210人(*H23実績:235人)</p> <p><input type="checkbox"/>顧客満足度80%以上</p> <p><input type="checkbox"/>申込み人数20人</p> <p><input type="checkbox"/>提携大学数4大学</p> <p><input type="checkbox"/>提携NPO法人数5団体</p> | <p>ア- (ウ)</p> <p>●「みんな集まれ！おんがくひろば」(5/28, 7/1, 9/2, 10/10, 1/24, 2/21 計816人)</p> <p><input type="checkbox"/>若手演奏家7人登用</p> <p><input type="checkbox"/>合計入場者数816人</p> <p><input type="checkbox"/>3回実施 ①7/1②2/10③2/10</p> <p>イ アートマネジメント学科との大学連携や、ホールオルガニスト育成のためのプログラムや市民プロデューサー講座など、当ホールならではの人材育成に努めました。</p> <p>イ- (ア)</p> <p><input type="checkbox"/>合計入場者数330人</p> <p><input type="checkbox"/>顧客満足度89.2%</p> <p><input type="checkbox"/>申込み人数17人</p> <p><input type="checkbox"/>提携大学4校<br/>昭和音楽大学、洗足学園大学、フェリス女学院大学、玉川大学</p> <p><input type="checkbox"/>提携NPO法人5団体</p> |
|---|---|--|

|  |   |   |
|--|---|---|
| <p>(オ)オルガン</p> <p>●1年かけてプロのオルガニストを育てるインターン制度を設けます。</p> <p>●オルガニスト・インターン経験者の演奏会での起用</p> | <p>□オルガニスト・インターン 1名の育成 (*H23実績:1名)</p> <p>□演奏会起用 2名</p> | <p>ミラマーレ・オペラ、ハマのJACK、STスポット横浜、じぶん未来クラブ、横浜シティオペラ</p> <p>□オルガニスト・インターン富田真希</p> <p>□3名(猿渡友佳、龍田優美子、春日朋子)の起用</p> |
|--|---|---|

(4) 未来を担う子どもたちに音楽を知り、学び、体験する機会を提供するための取り組み

|   |  |  |
|---|--|--|
| <p>[目指す成果]</p> <p>・子ども対象の、音楽による創造活動体験の企画を施設内外で提供する。また、障がいのある子どもや介護を必要とする子どもなどへの取り組みも行う</p> <p>横浜みなとみらいホールで15年かけて最も力を入れてきた子ども対象事業について、今後10年の展開も視野に入れて、事業を再編しつつ、活性化させていきます。</p> <p>[成果についての振り返り]</p> <p>当ホールで実施している子ども対象事業の概要を記載した「子どもカレンダー」を発行。多くの人たちに当ホールの子どもの事業に対する取り組みを周知していった結果、入場者数において達成指標比より大分高い数字が達成できました。また横浜市の音楽教職員に当ホールの事業を理解してもらう「Music Teachers Project」のための企画を実施し、次年度以降へのネットワーク強化へ繋げることができました。</p> |  |  |
| <p>[取組内容]</p> <p><u>ア)季節ごとに子ども向け事業を開催し、1年通してどの世代の子どもにも音楽に触れられる機会を提供します。</u></p> <p>●未就学児対象「みんな集まれ!おんがくひろば」(年間6回開催) 3-(1)-イ-(イ)参照</p> <p>●春<br/>「子どもの日コンサート」<br/>「ハマのJACK 金の卵」</p> <p>夏<br/>「夏休みわくわく遊音地」<br/>「ヤングアメリカンズ」</p> <p>秋<br/>「0歳からのオルガンコンサート」</p>   | <p>[達成指標]</p> <p>□合計入場者数 40,000人</p> <p>□顧客満足度 80%以上</p> | <p>[実施内容と達成状況]</p> <p>当ホール事業の柱でもあるこども事業について、年間を通してホールに来館できるように事業を実施しました。また、新規に教育機関との連携を深めるための試みを実施しました。</p> <p>■合計入場者数 49,104人</p> <p>■顧客満足度 93.3%</p> <p>●未就学児対象「みんな集まれ!おんがくひろば」(5/28, 7/1, 9/2, 10/10, 1/24, 2/21 計816人)</p> <p>●「子どもの日コンサート」(5/5 3,017人)</p> <p>●「ハマのJACK 金の卵」(5/3~5/19, 6/16, 8/4~8/7 計2,215人)</p> <p>●「夏休みわくわく遊音地」(8/1~8/7 計4,380人)</p> <p>●「ヤングアメリカンズ」(8/22 1,307人)</p> <p>●「0歳からのオルガンコンサート」(9/4 計1,983人)</p> <p>●「心の教育ふれあいコンサート」(9/10~9/12, 10/1~10/4, 10/30, 10/31, 11/5 計34,785人)</p> |

|   |   |   |
|---|---|---|
| <p>「心の教育ふれあいコンサート」</p> <p>冬</p> <p>「子ども向けオペラ」</p> <p><u>(イ)単なる一過性のワークショップだけでなく、ホールが育てるホール固有のジュニア演奏団体を持つ。</u></p> <p>●熱帯 JAZZ 楽団」公演で子どもビッグバンド(仮称)を共演させる</p> <p><u>(ウ)障がいのある子ども向けにオルガンワークショップを実施する</u></p> <p><u>(エ)音楽専科教員と連絡体制を整え、相互の信頼関係を強化する</u></p> <p>●「横浜みなとみらいホール Music Teachers Project」を現在のネットワークから発展的に立ち上げ、相互の情報交流のためにメール等を活用した定期的な情報発信をします</p> | <p>□子どもビッグバンド参加子ども数20人</p> <p>□年間2回開催</p> <p>■年4回送信</p> | <p>●「子ども向けオペラ」(8/5 計342人)</p> <p>□11/3 みなとみらいSuperBigBand 出演者17人</p> <p>□6/7、12に開催</p> <p>□代替で音楽専科教員が必要としているワークショップを希望調査のうえで開催</p> <p>ピアノ及びお琴のワークショップ 23人受講</p> |
|---|---|---|

(5) 音楽文化の持つ可能性、文化芸術の持つ社会的な力を活かし、地域社会に貢献する取り組み

|  |               |  |
|--|---------------|--|
| <p>[目指す成果]</p> <p>・多様なアウトリーチ等の研究をし、社会貢献する</p> <p>アコースティックな楽器をテーマとして、様々な楽器の多様なアウトリーチ事業を展開し、ノウハウを蓄積していきつつ、音楽に触れにくい地域の方々に音楽文化の魅力を直接伝え、地域への愛着を育てます。</p> <p>[成果についての振り返り]</p> <p>近隣の病院や保育園などへのアウトリーチなど、ミニコンサートや音楽体験を通し、地域の方々が当ホールを理解してもらえるよう数々の試みを実施、各施設の方々から高い評価を得られました。</p> |               |  |
| <p>[取組内容]</p> <p><u>(ア)小学校・障がい者施設</u></p>  | <p>[達成指標]</p> | <p>[実施内容と達成状況]</p> <p>小学校を中心としたアウトリーチを開催した他、障が</p> |

|  |   |  |
|--|---|--|
| <p><u>をはじめとしてアウトリーチ事業に積極的に取り組みます。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 小学校向けアウトリーチ事業</li> <li>● 障がい者施設向けアウトリーチ事業</li> </ul> <p><u>(イ)障がいのある方へのサービス拡充に努めます。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 一般層向け、これからの鑑賞者向けに入門用事業として定期的に行うコンサート(3-(1)-イ-②参照)への障がいのある方の参加者数の向上</li> <li>● 自主企画に障がい者割引料金の設定</li> <li>● 視覚障がい者対象のオルガンワークショップ</li> </ul> <p><u>(ウ)「街の音楽院」シリーズ等レクチャーコンサート</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 街の音楽院</li> <li>● その他のレクチャー(コンサート)等</li> </ul> | <p>□ 3校</p> <p>□ 1校</p> <p>□ 障がいのある方の総参加者数 年間延べ70人</p> <p>□ 80%以上</p> <p>□ 2回開催</p> <p>□ 総入場者数 250人</p> <p>□ 3回開催</p> <p>□ 3回開催</p> | <p>い者施設や保育園、病院など、様々な場所でのアウトリーチを実施しました。</p> <p>(ア)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 中学校 2校 (4日間) (9/24, 10/7, 10/23, 10/25)</li> <li>■ 小学校 3校 (4日間) (11/7, 11/8, 11/13, 2/18)</li> <li>■ 支援学級 (小学校) 1校 (1日間) (1/24)</li> <li>■ 保育園 2施設 (3/14)</li> <li>■ 病院 1施設 (3/14)</li> </ul> <p>(イ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 自主鑑賞事業での年間車イス利用者人数 54人<br/>盲導犬・白杖等 7人 聴覚障害 2人<br/>延べ 63人</li> </ul> <p>□ 横浜芸術アクション事業17公演中14公演に障害者割引設定を実施 (82.3%)</p> <p>□ 6/7、12に開催</p> <p>□ 総入場者数 314人</p> <p>□ コンサートを作ろう 8回実施<br/>(2/8, 2/16, 2/22, 3/1, 3/8, 3/15, 3/22, 3/29 計120人)</p> <p>□ 街の音楽院 4回実施 (6/30, 10/27, 2/10, 3/29 計194人)</p> |
|--|---|--|

(6) ホールに蓄積された音楽情報やネットワーク、ノウハウを活かした市民の音楽活動支援

|   |
|---|
| <p>[目指す成果]</p> <p><u>ア 主催公演の記録化、ホール公演情報の整理</u></p> <p>主催公演の写真・映像・音声の記録化を実施していきます。記録化した情報の活用方法をwebでの発信を中心に検討していきます。</p> <p><u>イ 音楽情報や国内外の芸術家や機関とのネットワークを活用し、市民の音楽活動へのコーディネーター機能を発揮</u></p> <p>芸術家や諸機関とのネットワークを生かし、「街の音楽院」などの講演イベント企画の中で市民の音楽活動に資するような講演会を実施していきます。</p> |
|---|

|  |   |  |
|--|---|--|
| <p>[成果についての振り返り]</p> <p>全主催公演について、写真を記録し保管しており、ホール事業周知だけではなく協賛活動のための資料などにも役立っています。また、事業によってはDVDに動画を記録しており、他ホールへ事業を売り込むための資料として製作しました。</p> <p>ホールのネットワークによる演奏家を起用した講演イベントを実施しました。一流の演奏家による生の話を聞く機会は大変貴重で、市民には好評でした。</p>   |   |  |
| <p>[取組内容]</p> <p>[取組内容]</p> <p><u>ア 公演情報の整理</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●主催公演の写真の記録を残します</li> <li>●主催公演の映像の記録を可能な範囲で残します</li> <li>●主催公演の音声の記録を可能な範囲で残します</li> </ul> <p><u>イ コーディネーター機能</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●街の音楽院や自主イベントにまつわる講演会で半数程度を市民音楽活動に役立つ内容にする。 3-(5)-(ウ) 参照</li> </ul> | <p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/>写真記録 100%</li> <li><input type="checkbox"/>映像記録 50%</li> <li><input type="checkbox"/>音声記録 70%</li> <li><input type="checkbox"/>3回</li> </ul> | <p>[実施内容と達成状況]</p> <p>ア 基本的に写真は全公演、映像や音声については、演奏者との兼ね合いにより可能な範囲で記録しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■実施</li> <li>■実施</li> </ul> <p>イ 音楽や演奏家に詳しい有識者を起用し、本公演への興味が喚起されるような音楽講座を実施いたしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/>3回開催<br/>(①BBC交響楽団②ドイツカンマー「フィデリオ」③招待ピアノ への誘導)</li> </ul> |

## 6 運営についての達成状況

### (1) 利用者ニーズや利便性に考慮し、柔軟に対応して施設機能を最大限に発揮するための取り組み

|   |
|---|
| <p>[目指す成果]</p> <p><u>ア 柔軟に対応して、市民の創作活動・発表の場として広く認知されるよう取り組む</u></p> <p>MMccでの周知活動を行ない、近隣企業就業者で音楽に親しむ層へのアプローチを実施します。</p> <p><u>イ クラシック音楽以外の公演を提供し、音楽を楽しむ層の拡大に取り組む</u></p> <p>クラシック音楽に留まらない、多様な音楽公演にも場を提供します。</p> <p><u>ウ 来館者に心地よい適切な環境が提供され、日本を代表するコンサートホールに相応しいと感じられる、質の高いサービスを安定的に提供する</u></p> <p>利用者の満足度を高めるべく、利用者と直接意見を交わす場を設けてニーズを探ります。また、第一線でお客様と接するレセプションистの接遇能力のブラッシュアップの為、年間を通じて研修を行います。</p> |
|---|

[成果についての振り返り]

貸館利用者がより質の高い公演を開催できるような提案と情報交換の場として、年度末に利用者懇談会を実施。同日、利用率向上が課題となっているレセプションルームでミニコンサートを併催し、レセプションルームや音楽練習室の新たな利用を提案しました。これにより、次年度以降の利用開発と施設機能拡充につながる取組みに着手することが出来ました。

「横浜音祭り2013」を契機にポップス、アニメソング、ゲーム音楽など、クラシック音楽以外の新たな音楽ジャンルにも積極的に施設を提供しました。公演数としては目標数値には至らなかったものの、スポーツやサブカルチャーとコラボした大規模公演の誘致は、これまでコンサートホールに足を運ばなかった新たな層の来館を促進しました。

| [取組内容]  | [達成指標]   | [実施内容と達成状況]  |
|---|--|--|
| <p><u>ア 市民の創作活動・発表の場として広く認知</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●音楽練習室やレセプションルーム等の内覧会</li> <li>●資料配布による PR</li> </ul> <p><u>イ 音楽を楽しむ層の拡大</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●多様なジャンルの音楽利用の誘致</li> </ul> <p><u>ウ 質の高いサービスを安定的に提供</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●利用者懇談会の実施</li> <li>●顧客・潜在顧客アンケートの実施</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 1回開催</li> <li><input type="checkbox"/> 年2回実施</li> <li><input type="checkbox"/> クラシック以外の音楽利用：20公演以上</li> <li><input type="checkbox"/> 年1回実施</li> <li><input type="checkbox"/> 年間120件回収</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 1回実施 (2/17)<br/>利用者懇談会開催時、レセプションルームでのミニコンサートをサンプルケースとして実施するとともに練習室の使い方と合わせて提案しました。</li> <li><input type="checkbox"/> 4回実施<br/>練習室やリハーサル室の利用案内チラシをMMccの会議で2回配布。加えて、近隣施設や楽器店にも貸館利用案内チラシを配布しました。</li> <li><input type="checkbox"/> 14公演<br/>公演数としては目標数値には至らなかったものの、JAZZ・邦楽・民俗音楽に加え、ポップスやアニメソング・ゲーム音楽など新たな音楽ジャンルの大型イベント系公演を誘致し、新たな来館者層の拡大に努めました。</li> <li><input type="checkbox"/> 2/17 1回実施<br/>小ホール利用者対象に実施。前半は利用者が更にレベルアップした公演を開催できるよう、事前アンケート内容による質疑応答や情報交換を実施。後半はレセプションルームへ移動し、ボランティア演奏によるミニコンサートを実施。施設利用例として大好評でした。また、ミュージックショップで販売中の紅茶の試飲も行い、ホールの魅力を様々な面からアピールすることも出来ました。</li> <li><input type="checkbox"/> 54件回収：練習室利用者にアンケートを実施。</li> <li><input type="checkbox"/> レセプションニスト研修を予定どおり実施。<br/>・新採用時研修 4/21、23～25</li> </ul> |

|  |  |  |
|--|--|--|
| <p>●レセプションリスト研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新採用時研修</li> <li>・フォローアップ研修</li> <li>・チーフ研修</li> <li>・コーチャー研修</li> <li>・全体研修</li> <li>・避難訓練</li> </ul> <p>●予約システムの更新</p> | <p>□レセプションリスト研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4日間</li> <li>・採用後6ヶ月後1回</li> <li>・年1回実施</li> <li>・年1回実施</li> <li>・年1回実施</li> <li>・年2回以上実施</li> </ul> <p>■年度内完了</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・フォローアップ研修 10/6、17</li> <li>・チーフ研修 2/1</li> <li>・コーチャー研修 5/22</li> <li>・全体研修 8/26</li> <li>・避難訓練 9/24、2/18、その他2回程度、公演終了後に小規模な訓練を実施</li> </ul> <p>■新しい予約システムを年度内に納品し、次年度からの本格稼働に向け調整を行っています。</p> |
|--|--|--|

(2) 日本を代表するとともに、市民にとって身近で愛されるコンサートホールとしてのサービスとホスピタリティを提供するための取り組み

|  |
|--|
| <p>[目指す成果]</p> <p><u>ア 施設の貸出について、音楽専門ホールとしての特性を前提としつつ利用促進に取り組む</u></p> <p>レセプションルームのサロンコンサート等での単独利用など、大・小ホールに限らず、施設の利用促進を図ります。</p> <p><u>イ 利用者のニーズ、満足度等を把握し分析を行い、事業の企画や運営を改善する</u></p> <p>自主事業では、全事業でアンケートを実施し、鑑賞者・参加者のニーズを探ります。出演者・企画者等ともアンケートを共有しあうことで、お客様の声を次回以降の企画に生かします</p> <p>運営では、利用者懇談会やアンケートを実施し、利用者のニーズを探ります。また、お客様と第一線で接するレセプションリストのマネージャーとのミーティングを定期的実施し、現場の声を共有してホール運営に活かします。</p> <p><u>ウ 施設見学の希望</u>に対しては、利用者の妨げとならないよう配慮のうえで、可能な限り対応する通常のホール利用下見の他、ホールの空き日を活用して、ホール利用を検討している団体・個人に向けてホールの見学及び基本事項をアドバイスするような「ホール利用下見会」を実施し、新規顧客を開拓します。</p> <p><u>エ ホールの発信性を高め、音楽文化の振興に寄与する商品を揃え、ショップ等で販売する</u></p> <p>来館者サービスの一環として、ショップでは「音楽のある生活を楽しむ」をコンセプトに様々なグッズを展開しています。今後は「ここでしか買えないもの」や気軽にお買い求めいただける商品ラインナップを更に充実させていきます。</p> <p><u>オ 公演等に関する問い合わせや相談に応じ、当館公演等のチケットを販売する窓口を設けます</u></p> <p><u>カ 主催者の求めに応じ、公演開催時には飲料等の飲食サービスを提供できる体制を用意する</u></p> <p>利用者サービスの一環として、専門業者に委託して、開場中のドリンクコーナーの営業を行います。また、公演の内容に応じたより効果的な営業形態について可能性を探ります。</p> |
|--|

キ 託児サービスを提供する

専門業者に委託して、公演中の託児サービスを実施します。また、外出しづらい子育て中の若年層が気軽に足を運ぶきっかけとなるよう、託児サービスの存在を周知し、委託業者にも協力を仰いで、託児サービスのニーズと効果を探ります。

[成果についての振り返り]

直前の利用が可能であり、利用率向上が課題のレセプションルームや音楽練習室について、チラシを作成・配布。ツイッターでの定期的な空き室情報提供や「広報よこはま」への情報掲載といった利用促進を積極的に実施した結果、レセプションルームは利用率・利用料金収入が増加しました。また、子育て世代が安心して気軽にコンサートに足を運べるよう、HPや「広報よこはま」で託児情報を提供。広報チームと連携をとりながら、施設利用促進とコンサートホールとしてのホスピタリティをアピールすることによって、次年度以降の新規顧客獲得につなげていきます。

| [取組内容]  | [達成指標]  | [実施内容と達成状況]   |
|---|---|---|
| <p><u>ア 利用促進</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●コンサートでのレセプションルーム単独利用</li> <li>●利用率<br/>大ホール<br/><br/>小ホール<br/>リハーサル室<br/>レセプションルーム<br/>音楽練習室</li> <li>●公開リハーサル・ロビーコンサート実施</li> </ul> <p><u>イ 満足度の高い運営</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●全自主事業において、鑑賞者・参加者アンケートを全員配付します。</li> <li>●レセプションニスト・マネージャーミーティングの実施</li> </ul> <p><u>ウ 施設見学</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ホール利用を検討中の団体・個人向けの利用下見会</li> </ul> | <p>□年 8 件</p> <p>□利用率<br/>97% (オルガメンテナス含む。* H23 実績 99%)、<br/>98% (*H23 実績 97%)<br/>49% (*H23 実績 45%)<br/>24% (*H23 実績 24%)<br/>78% (*H23 実績 73%)</p> <p>□各 3 回</p> <p>□平均顧客満足度 90%</p> <p>□年 10 回</p> <p>□年 2 回実施</p> | <p><u>ア 利用促進</u></p> <p>□10件実施</p> <p>新たに利用促進のためのチラシを作成し、近隣の音楽教室や楽器店など各所に配布。結果、10件の単独利用実績があり、利用料金収入も前年度の1.4倍になりました。</p> <p>□25年度利用率<br/>大ホール 97%<br/>小ホール 98%<br/>リハーサル室 46%<br/>レセプションルーム 25%<br/>音楽練習室 (6室平均) 72%</p> <p>□公開リハーサル：4回実施 (神奈川フィル3回・MMCJ 1回)<br/>ロビーコンサート：4回実施 (神奈川フィル2回、MMCJ1回、コンサートを作ろう1回)</p> <p><u>イ 満足度の高い運営</u></p> <p>92.4%</p> <p>□10回実施</p> <p>予定どおり実施し、情報共有を密にし、顧客満足度の高い運営を行いました。</p> <p><u>ウ 施設見学</u></p> <p>□2回実施</p> <p>4月は大ホールに特化し、1回実施。2月には小ホール</p> |

|                                  |   |  |
|----------------------------------|---|--|
| <p>●通常のホール利用下見<br/>対応</p>        | <p>□年間 80 件対応</p>   | <p>ル利用者向けに、新たな企画展開を提案するレセプションルームと練習室の見学会も実施しました。</p>   |
| <p><u>エ ショップ販売</u></p>           |   | <p>□年間112件</p>   |
| <p>●新商品開発・既存の売れ筋商品のモデルチェンジ</p>   | <p>□ホールオリジナルグッズ<br/>新規開発 1 点以上、<br/>売れ筋商品の新規開拓 1 点以上。</p> | <p>利用検討の際の下見対応に加え、打合せ時の下見のご要望にも対応し、利用時の満足度を高めました。</p>  |
| <p>●気軽に立ち寄れるショップづくり</p>          | <p>■ショップ内のイメージチェンジ</p>                                    | <p><u>エ ショップ販売</u></p> <p>□ホールオリジナルグッズとして、オリジナルブレンドの紅茶(500円・1000円)を新規開発し6月から販売。</p> <p>□売れ筋商品である文具類のなかで、お客様からの要望が多い、一筆箋やカードの類を15種増やし、売上げにつなげました。</p> <p>■公演の特徴に合わせて、楽器や作曲家のグッズを正面に出すなどレイアウトを工夫した結果、全体の売上が57万円増加。(対前年比108%)</p> |
| <p><u>オ 問合せ相談・チケットセンター窓口</u></p> | <p>□3 公演以上取扱い(貸館公演含む)</p>                                 | <p><u>オ 問合せ相談・チケットセンター窓口</u></p>   |
| <p>●チケットの市民先行販売</p>              |   | <p>□4 公演実施：横浜市招待国際ピアノ演奏会、NHK交響楽団、ジルヴェスター・コンサート、神奈川フィル特別演奏会「第九」(貸館公演)で実施。売上も前年度実績の2倍を超えました。(24年度:65枚→25年度:140枚)</p>   |
| <p><u>カ ドリンクコーナー</u></p>         |   | <p><u>カ ドリンクコーナー</u></p>   |
| <p>●営業形態の検討</p>                  | <p>■効率的かつ効果的営業形態の検討</p>                                   | <p>■屋上庭園コンサートの際にドリンクカウンターを使用しない形での営業を試行しました。公演の内容・規模に応じた営業の形態について、引き続き可能性と効果を検討していきます。</p>   |
| <p><u>キ 託児サービス</u></p>           |   | <p><u>キ 託児サービス</u></p>   |
| <p>●HP等を活用した託児サービスの周知</p>        | <p>□年 2 回以上</p>   | <p>□2 回実施</p> <p>「広報よこはま」11月号に広告記事掲出。また、HP上のトピックスで、託児サービスについてPRし、子育て世代もクラシック音楽を楽しめる環境であることをアピールしました。</p>   |
| <p>●託児サービス利用者向けアンケートの実施</p>      | <p>□年 2 回以上</p>   | <p>□アンケート：年 2 回実施 (1月・3月)</p>  |

(3) プロモーションの充実

[目指す成果]

ア 適切な商圈・対象層の設定、媒体の選択を行い、効率的・戦略的プロモーションに取り組む

開館15周年を迎える平成25年度は、ホール全体のプロモーションを強化し発信力を高めることによって、ホールの魅力を伝え、お客様との信頼関係を構築し、「共感」を軸としたブランドを形成します。

イ Web ツールを活用し、施設案内や公演情報だけでなく利用者が必要とする様々な情報を見やすく提供する

購買前行動に直結しており、低コストで機動性に優れたWEBサイトを中心としたオウンドメディアの充実を図ることにより、発信力を強化します。

[成果についての振り返り]

「開館15周年」と「横浜音祭り2013」を足がかりに、初めてのプレス懇談会や出演者を交えた記者発表を実施。メディアとの強固な関係づくりに努めましたが、実質的なチケット販売には結びつきませんでした。

| [取組内容]   | [達成指標]  | [実施内容と達成状況]  |
|--|---|--|
| <p><u>ア 効率的・戦略的プロモーション</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●友の会会員増加策としてキャンペーン実施</li> <li>●市民優遇措置として先行販売実施</li> <li>●各媒体への関係強化・情報発信力アップ</li> </ul> <p>(再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●公開リハーサル・ロビーコンサート実施</li> </ul> | <p>□会員数 2500 名(*H23 実績：2162 名)</p> <p>□3 公演(貸館公演含む)</p> <p>□媒体の情報掲載<br/>月間 70 件<br/>(H23 実績：60 件/月)</p> <p>(再掲)</p> <p>□各 3 回実施</p> | <p><u>ア 効率的・戦略的プロモーション</u></p> <p>□2,502名</p> <p>人気公演のチケット発売や音祭り期間に合わせ9/1～11/30に入会金無料キャンペーンを実施。また、会員限定の公開リハーサルの実施や公演時にキャンペーン窓口を設置するなど工夫した結果、会員数は2009年5月以来初めて2500人を超えました。</p> <p>□再掲：4公演実施(貸館公演含む) 横浜市招待国際ピアノ演奏会、NHK交響楽団、ジルヴェスター・コンサート、神奈川フィル特別演奏会「第九」の4公演で実施。売上も前年度実績の2倍超となりました。(24年度：65枚→25年度：140枚)</p> <p>□媒体の情報掲載：月間70件達成。</p> <p>[2013 年度掲載実績]</p> <p>992 件 (新聞244・雑誌243・フリーペーパー296・WEB 173・TV ラジオ36)</p> <p>□再掲：公開リハーサル・ロビーコンサート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公開リハーサル：4回実施(神奈川フィル3回・MMCJ 1回) 神奈川フィルは、一般向けと会員限定に分け、来場促進と会員増の両面の意義。</li> <li>・ロビーコンサート：4回実施(MMC J 1回・神奈川フィル2回・コンサートを作ろう1回)。来場促進のためクリスマスやホワイトデーに開催し、イベント性を強く打ち出しました。</li> </ul> |
| <p><u>イ WEB を活用した見やすい情報提供</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●冊子版コンサートカレ</li> </ul>  | <p>□4 回発行</p>   |  |

|   |   |  |
|---|---|--|
| <p>ンダー発行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ウェブサイトのサービスアップによるアクセス数アップ</li> <li>●メールマガジン発行</li> <li>●ツイッター展開</li> <li>●WEB上の読み物ページ</li> <li>●チケットセンターWEBでのチケット販売強化</li> </ul> | <p>□総ページアクセス数 月間 23 万件<br/>(*H23 実績:月平均 22 万件)</p> <p>□月 2 回発行</p> <p>□フォロワー数 1500 件 (*H23 実績: 603 件)</p> <p>□年 4 回掲載</p> <p>□チケット購買率 10% (*H24 から開始したサービスなので H23 実績なし)</p> | <p><u>イ WEBを活用した見やすい情報提供</u></p> <p>□冊子版コンサートカレンダー発行: 4 回発行</p> <p>□総アクセス数月間平均: 210, 436 件<br/>11 月の「横浜音祭り 2013」ピーク時期には、248, 084 件のアクセスがありました。</p> <p>□メールマガジン: 年間 13 通発行。<br/>多数発行による情報の重複を避け、月 1 回程度に抑えての発行となりました。</p> <p>□ツイッターフォロワー数: 2, 550 件</p> <p>□WEB上の読み物ページ: 年 5 回発行。<br/>マナー向上の呼び掛け編も作成するなどの工夫を凝らしました。</p> <p>□WEBでのチケット購買率: 枚数11%、売上18%</p> |
|---|---|--|

(4) 条例の遵守

| [取組内容]  | [達成指標]  | [実施内容と達成状況]  |
|---|---|--|
| <p><u>ア 休館日</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●保守点検、定期整備のため、必要な休館日の設定</li> <li>●竣工15年を過ぎ、施設や設備改修に対応できるよう、次年度以降の休館日について、横浜市と協議を進めます。</li> </ul> <p><u>イ 開館時間</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●条例および規則に基づく設定</li> <li>●ミュージア川崎の再開に伴って拡張受入してきた利用が通常に戻ることを受けて、営業時間内、利用コマ時間内での利用に戻して清掃・点検等の利用者サービスが回復できるよう、打合せ等でコーディネート力を発揮し、アドバイスをを行います。</li> </ul> | <p>■貸出状況や施設機能維持に配慮し、休館日を設定します。</p> <p>□年間 28 日の休館日を確保しつつ、10～12 月のコンサートシーズンは月 1 日の休館日とし、柔軟に対応します。</p> <p>■条例に基づき、利用者の利用条件に配慮します。</p> | <p><u>ア 休館日</u></p> <p>■館内を安全・快適な環境の中でご利用頂けるように定期的に休館日を設定し、施設・設備・清掃（ハード面）の不具合や必要な点検・整備を実施。良好な環境を維持しました。</p> <p>□高い稼働率のなか休館日を確保。10～12月のコンサートシーズンについては、柔軟な対応を行いました。</p> <p><u>イ 開館時間</u></p> <p>■利用申請時にご提出頂く「公演計画書」に目を配り、催しの内容と施設ご利用時間に無理がないかを前もって確認するよう努めました。催し物の内容によっては開演時間の変更や可能な範囲での延長利用をお勧めする等、細やかなアドバイスをを行い、安全かつ無理のないホール利用につながるよう心がけました。</p> |

|  |   |  |
|--|---|--|
| <p>ウ 利用料金等</p> <p>● 条例に基づいた適切な料金徴収</p> | <p>■ 条例に基づく適正な料金徴収を行ないます。</p> <p>■ 減免利用に関するガイドラインの再整備。</p>            | <p>ウ 利用料金等</p> <p>■ 条例に基づく適正な料金徴収を行いました。遅滞なく利用料金を徴収できるよう仕組みを整えていきましたが、未だ未整備な面もあることから、26年度は更なる仕組みづくりに取組んで参ります。</p> <p>■ 減免利用に関するガイドラインの再整備を行い、それに沿った適正な運用を行っています。</p> |
| <p>エ 貸出業務</p>                          | <p>■ 利用者ニーズに配慮し、条例・規則に基づいた貸出を実施します。</p> <p>■ 撮影等の利用についても柔軟に対応します。</p> | <p>エ 貸出業務</p> <p>■ 条例・規則に基づき、利用者のニーズを最大限生かせるよう、利用相談機能を発揮して対応しました。</p> <p>■ ホールの利用に影響がない範囲で柔軟に対応しました。</p>   |
| <p>オ 留意事項</p>                          | <p>■ 条例、規則に基づき、設置目的や利用者の安全等に配慮した貸出を実施します。</p>                         | <p>オ 留意事項</p> <p>■ 条例・規則に則った貸出を行いました。安全に配慮した細やかな対応により、利用者のニーズにも可能な限り対応できるよう心がけました。</p>   |

利用状況等について

| 施設名      | 25年度      |           |
|----------|-----------|-----------|
|          | 稼働率       | 利用者人数     |
| 大ホール     | 97% (91%) | 418,276 人 |
| 小ホール     | 98% (89%) | 85,327 人  |
| リハーサル室   | －% (46%)  | 22,680 人  |
| レプションルーム | －% (25%)  | 10,156 人  |
| 練習室      | －% (72%)  | 21,893 人  |
| その他      |           | 4,562 人   |
| 合計       |           | 562,894 人 |

※稼働率：日にち単位（時間帯単位）

7 施設維持管理について

(1) 快適な環境を維持するとともに、安全かつ安心して利用できる施設保全

|        |        |             |
|--------|--------|-------------|
| [取組内容] | [達成指標] | [実施内容と達成状況] |
|--------|--------|-------------|

|  |   |  |
|--|---|--|
| <p><u>ア 適切な管理</u></p> <p>●パイプオルガンやピアノの定期的メンテナンス実施</p> <p>●舞台・音響・照明の専門業者に舞台技術を委託</p> <p>●統括管理・設備管理・清掃管理を専門業者に委託</p> <p>●横浜市との連携による大規模修繕計画の策定</p> <p>●QSY や横浜市と連動した危機管理の実施</p> <p>●過失事故の防止</p> | <p>□パイプオルガン 年1回</p> <p>□コンサートピアノ 年1回</p> <p>□練習室ピアノ 年12回</p> <p>□リハーサル室ピアノ 年1回</p> <p>□楽屋ピアノ 年3回</p> <p>■東京舞台照明に委託 (第1期指定管理の共同事業体構成団体)</p> <p>■東急コミュニティーに委託 (第1期指定管理の共同事業体構成業者)</p> <p>■休館日設定の見直し、ビル管理システムの修繕計画、大規模修繕の提案および情報収集</p> <p>■要請に応じて、会議・対応等に参加</p> <p>□過失事故0件</p> | <p><u>ア 適切な管理</u></p> <p>□パイプオルガン保守：1/27～30</p> <p>□コンサートグランドピアノ保守点検<br/>       スタインウェイ1号機：8/14、15<br/>       スタインウェイ5号機：3/30、31<br/>       スタインウェイ6、7号機：3/11、12<br/>       ヤマハCFⅢ：8/14、15<br/>       ベーゼンドルファー：2/5、6</p> <p>□練習室ピアノ定期調律<br/>       毎月実施：年間12回実施</p> <p>□リハーサル室ピアノ<br/>       スタインウェイ3号機：8/14、15</p> <p>□楽屋ピアノ 7、10、2月実施 (年3回)</p> <p>■安全を第一に、利用者の要望とホールの特性を最大限に活かせるよう、日々舞台スタッフとの連携を密にし、適切な対応を心がけました。</p> <p>■多様化する利用者のニーズに対応し、優先順位と効率性を両立させながら、最大限の舞台効果を発揮できるよう、舞台・音響・照明設備の点検整備に努めました。</p> <p>■設備や清掃関係全般を委託による専門知識・技能を十分に活用し、修繕のタイミングや省エネ提案・中長期修繕計画等に反映することができました。</p> <p>■QSY改修計画に基づき、BAシステム改修工事について市の要請を受けて会議に出席。26年度に大規模修繕に必要な連続14日間の休館日を設定しました。</p> <p>■QSY防火防災協議会の一員として、また市の公共施設として災害発生時には迅速にそして的確に対応します</p> <p>□「過失事故0件」の運営を実現しました。</p> |
| <p><u>イ 施設維持管理業務</u></p> <p>●QSY 管理組合事務局会議、管理者打合せ等</p> <p>●設備関係の点検・定期整備業務</p> <p>●舞台関係の点検・定期整備業務 専門業者と打合せた年</p>  | <p>■要請に応じて、都度参加</p> <p>■専門業者と打合せた年間計画に従って、着実に実施</p> <p>□客席定期保守(大ホール) 年2回 (改修後1年未満のため、</p>   | <p><u>イ 施設維持管理業務</u></p> <p>■事務局会議・理事会・共同防火協議会 (定期総会) 定期総会等、都度参加し対応も含め共通認識を深めました。</p> <p>■計画的な点検やメンテナンスで、故障・不具合の発生を予め予測した早期対応を心掛けました。</p> <p>□大ホール客席については、改修後の微調整や指摘事項の対応も含む点検を年2回 (7月・11月) 実施しま</p>   |

|  |   |  |
|--|---|--|
| <p>間計画に従って、着実に実施</p> <p>●設備・舞台スタッフとの小破修繕会議</p> <p><u>ウ 環境維持管理業務</u></p> <p>●法令等に基づき、適正な施設維持管理に努めます。空気環境測定・清掃等の仕様を定めて建築物衛生環境を維持管理します。</p> <p><u>エ 保安警備業務</u></p> <p>●警備会社による効率的な保安警備を行ないます。</p> <p><u>オ 駐車場・搬入口管理業務</u></p> <p>●警備会社による管理を行い、利用者の安全を図ります。</p> <p><u>カ 6階屋上庭園の取り扱い</u></p> <p>●植栽の手入れを、統括管理業者を通じて専門業者に委託します</p> <p>●植栽や屋上の劣化状況を把握し、横浜市と共有します</p> | <p>簡易点検)</p> <p>□客席定期保守(小ホール) 年2回</p> <p>□舞台照明定期保守 年3回</p> <p>□舞台音響定期保守 年2回</p> <p>□舞台機構定期保守 年3回</p> <p>□年6回 (概ね2カ月に1回)</p> <p>□空気環境測定 年6回</p> <p>□照度測定 年2回</p> <p>□ごみ分別によるリサイクル意識の推進 常時</p> <p>□エコにつながる提案 年間1件以上</p> <p>■専門業者に入札による業務委託</p> <p>□駐車場・搬入口での過失事故0件</p> <p>□植栽の手入れ 年5回</p> <p>■目視確認 随時</p> | <p>した。</p> <p>□小ホール客席については、年2回(9月・3月)実施しました。今後は消耗部品を計画的に交換し、機能の維持を図ります。</p> <p>□舞台照明定期保守については、年3回(6月・10月・2月)実施しました。</p> <p>□舞台音響定期保守につきましては、年2回(8月・2月)実施しました。</p> <p>□舞台機構定期保守については、年3回(7月・12月・3月)実施しました。</p> <p>□日頃から情報交換や連絡を密に行い、連携を図ることにより、年間23件の小破修繕を実施し、大規模修繕の提案も行いました。</p> <p><u>ウ 環境維持管理業務</u></p> <p>■興行場法に基づく環境衛生に関する検査・測定・飲料水の検査等を計画通り実施し、興行場としての適性な環境を提供しました。</p> <p>■ごみ分別については、引き続き、周知徹底しました。</p> <p>□照明装置の経年劣化に伴う故障を機に、2階・3階ホワイエの白熱電球からLED照明化を提案し、年度内に施工されました(26年度は高所エリアを提案中)</p> <p><u>エ 保安警備業務</u></p> <p>■定例会(月/1回)や委託業者との情報共有を図り、共通認識のもとに業務遂行。施設利用者が快適にかつ防犯面や安全に使用できるように努めました。</p> <p><u>オ 駐車場・搬入口管理業務</u></p> <p>□過失事故0件達成しました。</p> <p>■出演者・来館者の受付と出入り管理、訪問者の連絡練習室等、鍵の受渡し、公演関係の印刷物、花束や郵便物の受付処理と保管管理、当日利用の車両スペースの割振り調整と掲示作成。搬出入車両の指示・誘導等、事故なく対応できました。</p> <p><u>カ 6階屋上庭園の取扱</u></p> <p>□植栽管理を年5回(4月・6月・8月・10月・3月)実施。</p> <p>■剪定・刈込み・芝刈り・除草・固形肥料の地面散布薬剤散布・病虫害防除等を実施し、良好な状態を維持しました。</p> <p>■新芽に大量発生したツゲノメイガの幼虫駆除に、臨時の薬剤散布を実施しました。延びた雑草は都度手摘み対応しました。</p> |
|--|---|--|

|   |   |  |
|---|---|--|
| <p>●劣化が進行しているウッドデッキの安全確認に配慮します</p>                          | <p>■荒天後の安全確認を行います</p>   | <p>■表面汚れで苔が発生し、濡れると非常に滑りやすく危険なため、ポリシャマシで洗浄を実施しました。傷や欠けた所などについては、部分補修を行いました。</p>  |
| <p><u>キ 防災等</u></p>   | <p>□会議参加 年2回(通常)</p> <p>□毎日</p> <p>□年1回</p> <p>□年2回以上</p>           | <p><u>キ 防災等</u></p> <p>□Q S Y防火防災管理協議会に年2回参加。(5/30・11/27 開催)</p> <p>■防火防災管理自主を毎日実施しました。</p> <p>■防災管理点検を年1回(2月)実施しました。</p> <p>□年3回の消防訓練・防災訓練を実施。(8/31:大地震を想定した避難訓練、②9/24:避難訓練コンサート2/18:消防訓練。)</p> |
| <p><u>ク 緊急時の対応</u></p>                                      | <p>■常備</p> <p>■常備</p>   | <p><u>ク 緊急時の対応</u></p> <p>■新たに防災マニュアル・危機管理マニュアルを改訂済です。</p> <p>■4月に作成し、全職員へ配布済です。</p>   |
| <p>●防災マニュアル、危機管理マニュアル</p> <p>●携帯電話および携帯メール情報を盛り込んだ緊急連絡網</p> | <p>■Q S Y管理組合の電気主任技術者を追認</p>  | <p><u>ケ 有資格者の配置</u></p> <p>■第2種および第3種の電気主任技術者を各1名配置しました。</p>   |
| <p><u>ケ 有資格者の配置</u></p>                                     | <p>■統括管理業者に技術者を置く</p> <p>■当館には第一種圧力容器が設置されているので、2級以上のボイラー技士を置く。</p> | <p>■建築物環境衛生技術者を配置しています。</p> <p>■ボイラー技士(2級以上) 或いはボイラー整備士を5名配置しました。</p>  |
| <p>●建築物環境衛生管理技術者</p> <p>●ボイラー技士(2級以上)</p>                   | <p>■指定管理者の職員が資格を取得</p>  | <p>■職員が資格習得済です。</p>  |
| <p>●甲種防火管理者及び防災管理者</p>                                      | <p>■都度</p>  | <p><u>コ 条例で定める業務以外で施設を使用する場合</u></p>   |
| <p><u>コ 条例で定める業務以外で施設を使用する場合</u></p>                        | <p>■都度</p>  | <p>□H25年度は該当する利用はありませんでした。</p>   |
| <p>●条例および規則に基づき、利用申請について審査し、適正な手続きを行</p>                    | <p>■都度</p>  |  |

|      |  |  |
|------|--|--|
| います。 |  |  |
|------|--|--|

## 8 その他の業務について

### (1) 政策協働型指定管理を推進し、横浜市の専門文化施設としての最適な管理運営の実現

| [取組内容]  | [達成指標]  | [実施内容と達成状況]   |
|---|---|---|
| <u>ア 政策経営協議会</u><br>●横浜市と指定管理者が一体となって業務品質の更なる向上に努めます。                   | <input type="checkbox"/> 政策経営協議会の実施<br>年 4 回  | <u>ア 政策経営協議会</u><br><input type="checkbox"/> 4回実施（8/27、11/5、1/28、3/17）し、大規模修繕計画や芸術アクション事業に関する課題共有・今後の対策について協議しました。  |
| <u>イ 計画策定及び業務報告</u><br>●政策経営協議会での協議に基づき、政策や社会情勢を反映したより効果的な年間業務計画を策定します。 | <input type="checkbox"/> 年間業務計画・年間業務報告の情報公開<br>各 1 回<br><input checked="" type="checkbox"/> 大規模修繕計画案の策定               | <u>イ 計画策定及び業務報告</u><br><input type="checkbox"/> 各1回ずつ公開。<br><input checked="" type="checkbox"/> 大規模修繕計画を策定し8/27の政策経営協議会でも付議。H26年度に約10日間の休館を伴う修繕が決定し、大規模修繕の道筋をつけることができました。 |
| <u>ウ 業務評価</u><br>●P D C Aサイクルを徹底し、各評価の結果を政策経営協議会等で検討。今後の運営に反映させます。      | <input type="checkbox"/> 自己評価・横浜市評価<br>年 2 回<br><input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者選定評価委員会による外部評価、業務視察・ヒアリングの実施 | <u>ウ 業務評価</u><br><input type="checkbox"/> 半期・期末の振り返りを共に実施済みです。<br><input checked="" type="checkbox"/> 予定通り実施済みです。   |

### (2) 収支について

| [取組内容]   | [達成指標]  | [実施内容と達成状況]  |
|--|---|--|
| <u>ア 収入(収入向上及び外部資金導入の努力)</u><br>●開館 15 周年を期にさらなる収入増加を図ります。 | <input type="checkbox"/> 企業協賛金収入<br>14,550 千円 (23 年度実績：13,793 千円)<br><input type="checkbox"/> ショップ収入<br>前年度比 3%増 (23 年度実績：7,439 千円) | <input type="checkbox"/> 企業協賛金収入<br>15,809千円（前年度実績1,259千円増）の協賛金を獲得しました。<br><input type="checkbox"/> ショップ売上：7,735千円（3.9%増）で目標達成。店頭工夫や売れ筋商品の動向を吟味しました。 |
| <u>イ 支出(適切な支出配分、コスト削減への努</u>                               |   |  |

|   |  |  |
|---|--|--|
| <p>カ)</p> <p>●新規事業経費、人的体制の整備、広報宣伝費の強化、施設や設備の点検・改修維持経費の確保を図るため、コスト削減を図ります。本年度は、残業時間を削減して人件費を押さえ、既存の取引を見直します。</p> | <p>□事務室スタッフの残業時間 前年度比 5%削減</p> <p>■既存取引の見直しを行い、定例的支出のコストカットを図る</p> | <p>□スタッフ残業時間：対前年度比▲22.7%で目標達成しました。</p> <p>■定例的支出のコストカットの実施</p> <p>セキュリティシステム保守の契約方法の切替、ネットワーク障害切り分け保守と12条点検報告を自前実施するなどの工夫により約400万円を削減。その他、在庫管理徹底による消耗品費削減と専門人材配置による修繕費削減で約600万円削減。</p> |
|---|--|--|

## 9 組織について

### (1) 組織について

| [取組内容]   | [達成指標]   | [実施内容と達成状況]   |
|--|--|---|
| <p><u>ア 明確な責任体制の構築</u></p> <p>●新たな組織図及びグループ毎業務分担表作成</p> <p>●組織内意思決定</p> <p><u>イ 専門人材の確保と高い専門性を発揮できる組織</u></p> <p>●事業、運営、施設維持管理等施設全体を管理運営するために必要な人材と人員の確保し、より高い専門性を発揮できる組織づくりに努めます。</p> | <p>■組織内での共有</p> <p>□3回/月開催</p> <p>■各専門性に応じた適正な人員配置を行ないます。</p> <p>■OJTやMBOにより、以下の観点での人材育成に努めます。</p> <p>【求められる専門性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業；音楽事務所やアーティスト、市民団体等とのコミュニケーション能力及びコーディネート力。音楽事業の企画・立案力や音楽への専門的知識の保有。</li> <li>・管理；必要な法令や財団の例規を理解し、適切な対応が行なえる。対外調整力とコミュニケーション能力</li> </ul> | <p><u>ア 明確な責任体制の構築</u></p> <p>■4月に新たな組織図及び業務分担表を作成し、組織内で共有。</p> <p>□3回以上/月 開催</p> <p><u>イ 専門人材の確保と高い専門性を発揮できる組織</u></p> <p>■専門性に応じた人員配置を実施。新たに施設担当リーダーを配置しています。</p> <p>■OJT及びMBOにより、職員一人ひとりが高い専門性を発揮できるよう人材育成に取り組むと共にサービスの向上を図りました。</p> |

|  |  |  |
|--|--|--|
|  | <p>の保有。</p> <p>施設管理においては、建築物や設備・ビル管理についての基本的知識を保有。</p> |  |
|--|--|--|

## (2) 人材育成

|  |   |   |
|--|---|---|
| <p>[取組内容]</p> <p>施設における組織力の向上のため、人材育成に取り組めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● MBOによるOJTを積極的に実施し、人材育成のツールとして積極的に活用します。</li> <li>● ホール独自の研修としてレセプション研修、職員への個人情報研修、危機管理訓練を実施します</li> <li>● 事務局研修への参加</li> <li>● 当財団全体の経営を評価する団体評価</li> </ul> | <p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 人材育成ツールとして積極的に活用します。</li> <li>■ レセプション研修については4(1)ウ参照</li> <li>■ 積極的に参加させる体制を作ります。</li> </ul> | <p>[実施内容と達成状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ MBOの個別面談のみならず、一人ひとりの習熟度に合わせてOJTでもきめ細かく指導を行いました。</li> <li>■ 4(1)ウ 記載のとおり</li> <li>■ 受講必須の研修をはじめ階層別研修など積極的にスタッフを参加させました。</li> </ul> |
|--|---|---|

## 10 留意事項

### (1) 保険および損害賠償の取り扱い

|   |  |   |
|---|--|---|
| <p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 施設賠償責任者保険、動産総合保険、レジャーサービス費用保険について</li> <li>● 事故対応</li> </ul> | <p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 業務の基準に定められた内容で加入します。</li> <li>■ 事故発生時には必要な手続きをとり、適正な取扱いをします。</li> </ul> | <p>[実施内容と達成状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 定められた内容で加入しました。</li> <li>■ 状況に応じて適正に取扱いしました。</li> </ul> |
|---|--|---|

### (2) 法令の遵守と個人情報保護

|  |   |  |
|--|---|--|
| <p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 公の施設の管理者とし</li> </ul> | <p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ コンプライアンス窓口を</li> </ul> | <p>[実施内容と達成状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ ホール内に経営G長、財団事務局に業務管理グルー</li> </ul> |
|--|---|--|

|                                   |   |   |
|-----------------------------------|---|---|
| <p>て法令を遵守し、適正な個人情報の取扱いを推進します。</p> | <p>財団事務局に設置します。</p> <p>■個人情報取扱い説明会を新規採用者対象に都度実施します。</p> | <p>づ長を置き、日常的に業務を適正に進めました。</p> <p>■4月に新採用者対象の個人情報取扱説明会を実施。</p> <p>日常の声掛け・チェックに加え、12月から毎月個人情報セルフチェックシートを導入し、各自の意識向上と適正な管理の推進に努めました。</p> |
|-----------------------------------|---|---|

(3) 情報公開

|  |   |   |
|--|---|---|
| <p>[取組内容]</p> <p>●公の施設の管理者として、説明責任を果たす視点から、情報公開に対し積極的に取組みます。</p> | <p>[達成指標]</p> <p>■情報公開窓口を財団事務局に設置します。</p> | <p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■情報公開窓口を財団事務局に設置しました。</p> |
|--|---|---|

(4) 市および関係機関等との連絡調整

|  |  |  |
|--|--|--|
| <p>[取組内容]</p> <p>●横浜市や関連機関との連絡を密にし、情報を共有します。</p> | <p>[達成指標]</p> <p>■事故・苦情等は、横浜市および財団事務局へ速やかに都度報告します。</p> | <p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■都度、速やかに財団事務局及び横浜市に報告。お客様からのクレーム等については、再発防止にも努めました。(例:コンサートマナーについてHP掲載等)</p> |
|--|--|--|

1 1 収支決算額について

収支決算書

(単位:円)

| 項目        | 予算額           | 決算額           | 差額          | 備考           |
|-----------|---------------|---------------|-------------|--------------|
| 収入        |               |               |             |              |
| 指定管理料収入   | 507,010,000   | 507,010,000   | 0           |              |
| 市からの委託料収入 | 18,370,000    | 18,521,050    | 151,050     |              |
| 利用料金収入    | 207,500,000   | 208,029,156   | 529,156     |              |
| 事業収入      | 287,535,000   | 253,424,568   | ▲34,110,432 | 海外招聘事業の販売不振  |
| 助成金・協賛金   | 35,460,000    | 54,699,500    | 19,239,500  | 文化庁 +1,800 万 |
| その他収入     | 21,181,000    | 3,452,648     | 641,648     |              |
| 合計        | 1,058,686,000 | 1,045,136,922 | ▲13,549,078 |              |

|       |               |               |             |                            |        |
|-------|---------------|---------------|-------------|----------------------------|--------|
| 支出    |               |               |             |                            |        |
| 人件費   | 211,390,000   | 196,996,891   | ▲14,393,109 | 配置転換、退引基準変更                |        |
| 管理費   | 311,534,000   | 324,635,468   | 13,101,468  |                            |        |
| 内訳    | 光熱水費          | 125,000,000   | 134,568,066 | 9,568,066                  | 電気代増   |
|       | 修繕費           | 7,000,000     | 2,872,742   | ▲4,127,258                 |        |
|       | 委託費ほか         | 179,534,000   | 187,194,660 | 7,660,660                  | 予約システム |
| 負担金   | 29,962,000    | 23,427,707    | 6,534,293   | BA 保守 管理費へ                 |        |
| 事業費   | 386,936,000   | 427,764,371   | 40,828,371  | 事業拡大、経費増                   |        |
| 事務費   | 103,142,000   | 87,328,644    | ▲16,015,081 | 予約システム 管理費へ<br>広報 事業費へ科目変更 |        |
| その他支出 | 25,014,000    | 19,122,757    | ▲5,891,243  |                            |        |
| 合計    | 1,067,978,000 | 1,079,275,838 | 11,297,838  |                            |        |

|     |            |             |             |  |
|-----|------------|-------------|-------------|--|
| 収支計 | ▲9,292,000 | ▲34,138,916 | ▲24,846,916 |  |
|-----|------------|-------------|-------------|--|